

資料1 - 2

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	26年度実績	26年度目標値	評価(最終)	評価理由等
1	乳幼児健康診査(4か月児、1歳6か月児、3歳児)	◇4か月児 96% ◇1歳6か月児(歯科) 84% ◇3歳児(内科) 90%	◇4か月児 96.1%(対象者数6,434人、受診者数6,185人) ◇1歳6か月児(歯科) 88.9%(対象者数6,112人、受診者数5,435人) ◇3歳児(内科) 93.7%(対象者数5,830人、受診者数5,601人)	◇4か月児 96%以上 ◇1歳6か月児(歯科) 84%以上 ◇3歳児(内科) 90%以上	◇4か月児 A ◇1歳6か月児(歯科) A ◇3歳児(内科) A	◇4か月児、1歳6か月、3歳とも継続的な実施により目標達成
2	幼児歯科健康診査(1歳6か月児、2歳児、2歳6か月児、3歳児)	3歳児のむし歯のない子の割合 82% 歯科健康診査受診率 1歳6か月児 84% 2歳児 80% 2歳6か月児 25% 3歳児 89%	3歳児のむし歯のない子の割合 87.7% 歯科健康診査受診率 1歳6か月児 88.9% 2歳児 81.0% 2歳6か月児 33.5% 3歳児 93.3%	3歳児のむし歯のない子の割合 85% 1歳6か月児 85%以上 2歳児 81%以上 2歳6か月児 30%以上 3歳児 91%以上	◇3歳児のむし歯のない子の割合 A ◇1歳6か月児 A ◇2歳児 A ◇2歳6か月児 A ◇3歳児 A	◇各歳児とも、目標値に達した
3	「母親学級」および「パパとママの準備教室」	母親学級土曜日開催数 0回 パパとママの準備教室 開催回数 43回 参加人数 1,900人	母親学級土曜日開催数 12回 パパとママの準備教室 開催回数 46回 参加人数 2,754人	母親学級土曜日開催数 12回 パパとママの準備教室 開催回数 48回 参加人数 2,900人	◇母親学級土曜日開催数 A ◇パパとママの準備教室 B	◇母親学級は、平成23年度より土曜日開催実施により目標達成。 ◇パパとママの準備教室は、開催数を増やし、参加人数増につなげた。
4	こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業 新生児等訪問指導事業 産婦訪問指導事業)	新生児等訪問指導実施率 87% 産婦訪問指導実施率 87%	新生児等訪問指導実施率 91.4%(対象者数6,156人、訪問数5,625人) 産婦訪問指導実施率 89.8%(対象者数6,156人、訪問数5,527人)	新生児等訪問指導実施率 90%以上 産婦訪問指導実施率 90%以上	新生児等訪問指導実施率 A 産婦訪問指導実施率 B	◇新生児等訪問指導実施率は目標を達成 ◇産婦訪問指導実施率は改善している。平成26年度は目標値にわずかに及ばなかった。平成23、24、25年度は90%超である。 23年度 91.7% 24年度 91.5% 25年度 90.0%
5	教育相談室の増設	◇教育相談室3か所設置 練馬教育相談室、光が丘教育相談室、関教育相談室	◇(仮称)大泉教育相談室(学校教育支援センター大泉分室)の基本設計を完了した。	◇教育相談室4か所設置 練馬教育相談室、光が丘教育相談室、関教育相談室、(仮称)大泉教育相談室	◇教育相談室 B	◇平成27年度には、4か所目となる(仮称)大泉分室の実施設計および工事着手を行う。 旧総合教育センターの発展的改組により、学校教育支援センターが設置された。それに伴い、「教育相談室」は学校教育支援センターの「分室」として再編された。今後は名称を「(仮称)大泉分室」とし、整備をすすめる。

重点事業における評価および評価理由

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	26年度実績	26年度目標値	評価(最終)	評価理由等
6	がん検診 (胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん)	(平成22年度末見込み) ◇胃がん 7.0% ◇肺がん 9.7% ◇大腸がん 21.2% ◇子宮がん 20.8% ◇乳がん 19.7%	◇胃がん 7.7% ◇肺がん 9.8% ◇大腸がん 22.4% ◇子宮がん 21.2% ◇乳がん 21.2%	◇がん検診受診率 50% (胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん)	◇胃がん B ◇肺がん B ◇大腸がん B ◇子宮がん B ◇乳がん B	◇目標値は、平成19年6月に国が策定した基本計画にもとづいている。 ◇個別通知の発送、無料クーポン券の送付、再受診勧奨ハガキの送付などの取り組みを行っているが、受診率は微増である。
7	子宮頸がん予防ワクチン接種事業	◇中学3年生の女子を対象に、子宮頸がん予防ワクチンの接種を開始	【接種率(実施率)】 ◇接種者:61人(回)	◇子宮頸がん予防ワクチンの接種率 85%	◇子宮頸がん予防ワクチンの接種率 E	◇平成24年度には中学1~3年生を対象に86.5%の接種率に達した。対象者(対象実施数)27,345人(回)に対し、接種者(実施数)23,663人(回) 平成25年6月14日厚生労働省から「積極的勧奨の差し控え」が通知された。 積極的勧奨は差し控え、希望者に対してのみ、有効性及び安全性等についてご理解いただいたうえで、予防接種票を発行している。
8	練馬区国民健康保険特定健康診査	(平成21年度実績) ◇練馬区国民健康保険特定健康診査受診率 41.3%	◇練馬区国民健康保険特定健康診査受診率 42.7%	◇練馬区国民健康保険特定健康診査受診率 65%以上	◇練馬区国民健康保険特定健康診査受診率 B	◇微増 23年度から、以下の取り組みを継続実施している 圧着はがきでの勧奨事業 健診PR動画を区ホームページで配信 健診PRポスターの作成
9	メタボリックシンドローム対策事業	(平成20年度実績) ◇メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数 6,147人	◇メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数 5,485人 ◇H20と比較し、662人減(10.8%削減)	◇メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数 10%以上削減	◇メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数 A	◇目標を達成 国保特定保健指導の実施者 1,155人(実施率22.0%) 「個人指導型フィットネスプログラム」参加者425人 修了者280人【健康推進課所管事業】
10	禁煙支援事業	(平成21年度実績) 喫煙率 男性 28.7% 女性 9.5% 禁煙希望者の割合 男性 49.3% 女性 62.3%	◇H25調査結果(健康実態調査) 喫煙率 男性 23.2% 女性 9.8% 禁煙希望者 男性 35.8% 女性 63.4%	喫煙率 男性 20%以下 女性 6%以下 禁煙希望者の割合 男性 60%以上 女性 80%以上	◇喫煙率 男性 E 女性 E ◇禁煙希望者の割合 男性 E 女性 E	◇禁煙支援事業は、受動喫煙による健康被害の普及啓発を目的として、禁煙週間の実施、区内大学での受動喫煙防止推進キャンペーン、禁煙支援薬局事業等を実施しており、アンケートでは好評を得ている。 喫煙率、禁煙希望者の割合は、おおむね5年に一度実施の健康実態調査によるが、これらの割合が禁煙支援事業の達成度を表しているとは言い難く、目標値に対する評価は困難である。

重点事業における評価および評価理由

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	26年度実績	26年度目標値	評価(最終)	評価理由等
11	健康手帳の発行	(平成21年度実績) ◇運動習慣者の割合 20.8%	◇H25調査結果 運動習慣者の割合 20.8%	◇運動習慣者の割合 39%以上	◇運動習慣者の割合 C	◇平成21年度値と平成25年度値が同じ (健康実態調査) 健康実態調査は、おおむね5年に一度行っている
12	自殺予防対策事業の充実	◇ゲートキーパー養成数 受講者累計 747人	◇ゲートキーパー養成数 受講者累計 1,721人	◇ゲートキーパー養成数 受講者累計 1,200人	◇ゲートキーパー養成数 A	◇相談機関としての区窓口の役割の重要性を鑑 み、職員向け研修を実施したほか、教育委員会を 通じて、区内小中学校の教職員にも受講機会を増や した。
13	介護予防普及啓発事業 (一次予防事業)	◇意識して介護予防に取り 組んでいる高齢者の割合 43.6%	◇意識して介護予防に取り 組んでいる高齢者の割合 55.2% (高齢者基礎調査26年3 月)	◇意識して介護予防に取り 組んでいる高齢者の割合 50.0%	◇意識して介護予防に取り 組んでいる高齢者の割合 A	◇次回高齢者基礎調査は、平成28年度
14	高齢者センター・敬老館・敬 老室の活用	◇高齢者センターと敬老 館・敬老室の個人利用登 録者数 19,500人 (実績12,854人)	◇高齢者センターと敬老 館・敬老室の個人利用登 録者数 21,721人	◇高齢者センターと敬老 館・敬老室の個人利用登 録者数 22,000人	◇高齢者センターと敬老 館・敬老室の個人利用登 録者数 B	◇ほぼ達成 ◇各高齢者センターおよび敬老館において、毎月、 事業案内を記載したセンターだより・館だよりを配 布し、個人利用登録者数の増進を図った。
15	練馬区健康づくりサポーター の育成と自主的活動の支援	◇練馬区健康づくりサポ ーターの活動参加率 70% (実績68.8%)	◇練馬区健康づくりサポ ーターの活動参加率 80.9%	◇練馬区健康づくりサポ ーターの活動参加率 90%	◇練馬区健康づくりサポ ーターの活動参加率 B	◇増加している。目標には届かず ◇同じ志を持つサポーター同士を引き合わせ、仲 間づくりを推進するためのサポーター研修会や サポーター連絡会を開催するなど、支援方法の 変更に取り組んでいる。
16	受動喫煙防止のための分煙化 推進	◇区内事業者と共同で、受 動喫煙防止のための完全 分煙施設設置をモデル事 業として検討します。	◇屋内喫煙所設置助成 0ヶ所	◇区内に完全分煙施設の設 置が進み、受動喫煙防止 対策が進展した状態	◇区内に完全分煙施設の設 置が進み、受動喫煙防止 対策が進展した状態 C	◇平成23年度の1か所設置に留まり、その後設置希 望がない状況である。
17	乳幼児のいる親子の食事講 習会	◇乳幼児のいる親子の食事 講習会受講者数 保健相談所6所合計 6,000人 (実績4,344人)	◇乳幼児のいる親子の食事 講習会受講者数 保健相談所6所合計 10,122人	◇乳幼児のいる親子の食事 講習会受講者数 保健相談所6所合計 9,000人	◇乳幼児のいる親子の食事 講習会受講者数 保健相談所6所合 A	◇平成25年度より、1歳児に加え、3歳児も受講対 象とした
18	ふれあい給食	(平成21年度実績) ◇ふれあい給食参加者数 区立保育所60園 3,734人	◇ふれあい給食参加者数 区立保育所60園 5,860人	◇ふれあい給食参加者数 区立保育所60園 4,000人	◇ふれあい給食参加者数 区立保育所60園 A	◇25年度 5,107人

重点事業における評価および評価理由

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	26年度実績	26年度目標値	評価(最終)	評価理由等
19	「(仮称)練馬区立小中学校における食育推進計画」の策定	◇平成19年度に策定された「練馬区小中学校における食育推進計画」に基づいて、食育を推進します。	◇平成24年度に策定した「第2次練馬区立小中学校における食育推進計画」に基づいて、食育を推進しました。	◇平成24年度に策定した「第2次練馬区立小中学校における食育推進計画」に基づいて、食育を推進します。	◇平成24年度に策定した「第2次練馬区立小中学校における食育推進計画」に基づいて、食育を推進します。 A	◇目指す姿を目標としている
20	バランスのよい食事の普及啓発	(平成21年度実績) ◇栄養バランスなどに配慮した食生活を送っている区民の割合 35.5%	◇H25調査 37.9%	◇栄養バランスなどに配慮した食生活を送っている区民の割合 60%以上	◇栄養バランスなどに配慮した食生活を送っている区民の割合 B	◇増加している。目標値には達せず
21	「食」のほっとサロン	◇「食」のほっとサロンの会場数 14会場	◇「食」のほっとサロンの会場数 17会場	◇「食」のほっとサロンの会場数 増加	◇「食」のほっとサロンの会場数 A	◇会場数17は、新規の会場と事業を終了した会場が含まれているが、一定数で経過している。
22	農業体験農園	◇(平成21年度実績) 農業体験農園 14園	◇17園	◇農業体験農園 20園 ◇長期計画後期実施計画において、目標値は17園に修正された	◇農業体験農園 A	◇平成22年度、23年度、25年度に1園ずつ整備
23	練馬大根育成事業	◇生大根の販売 約1,800本 ◇沢庵漬けの販売 約5,700本 ◇収穫体験 約750本 ◇練馬大根引っこ抜き競技大会 約4,000本 ◇伝来種保存事業	◇生大根の販売 2,942本 ◇沢庵漬けの販売 5,300本 ◇収穫体験 751本 ◇練馬大根引っこ抜き競技大会 4,800本 ◇伝来種保存事業	◇生産者の協力を得ながら、練馬大根の生産本数を増やしていきます。	◇生産者の協力を得ながら、練馬大根の生産本数を増やしていきます。 A	◇販売数増加 ◇収穫体験と引っこ抜き大会は人気。 ◇料理の提供も年ごとに拡大。 24年度 本庁舎20階展望レストラン 西庁舎地下1階レストラン 武蔵大学 25年度 日本大学芸術学部 26年度 勤労福祉会館内レストラン
24	食育推進講演会	(平成21年度実績) ◇「食育」に関心をもっている人の割合 68%	◇H25調査 73.0%	◇「食育」に関心をもっている人の割合 90%以上	◇「食育」に関心をもっている人の割合 B	◇増加している。目標には達せず
25	食のサポーター育成と自主的活動の支援	◇食を通じた練馬区健康づくりサポーターの活動参加率 70%	◇食を通じた練馬区健康づくりサポーターの活動参加率 64.1%(平成24年度) ◇健康づくりリーダー(食育リーダー)の講座修了者数 24名 平成25年度 28名	◇食を通じた練馬区健康づくりサポーターの活動参加率 90%	◇食を通じた練馬区健康づくりサポーターの活動参加率 E	◇食のサポーターは主に高齢者を対象とした活動を行っており、自主的活動へ移行したため支援を修了し、平成25年度より子どもたちの食の自立を目指した活動を進めるために食育推進ボランティアの育成及び活動支援を開始した。

重点事業における評価および評価理由

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	26年度実績	26年度目標値	評価(最終)	評価理由等
26	食育推進ネットワーク会議	(平成21年度実績) ◇「食育」という言葉を知っている人の割合 83%	◇H25調査 85.3%	◇「食育」という言葉を知っている人の割合 95%以上	◇「食育」という言葉を知っている人の割合 B	◇増加している。目標には達せず
27	健康危機管理対策本部の設置・運営	◇熱中症の区内発生状況について「健康危機管理対策本部」(幹事会)を開催 ◇「健康危機管理マニュアル」の改訂	◇健康危機管理対策本部幹事会開催 3回	◇緊急時には、必要に応じて健康危機管理対策本部を設置・運営し、関係機関との連携を図り、事態に対応します。	◇緊急時には、必要に応じて健康危機管理対策本部を設置・運営し、関係機関との連携を図り、事態に対応します。 A	◇平成24年度 インフルエンザ対策、熱中症対策、ノロウイルス対策、PM2.5対策 ◇平成25年度 鳥インフルエンザA(H7N9)、熱中症対策、PM2.5対策 ◇平成26年度 デング熱対策、エボラ出血熱対策、熱中症対策
28	麻しん風しん混合ワクチンの接種率向上	◇麻しん風しん混合ワクチン接種率 1期 97.6% 2期 97.6%	◇麻しん風しん混合ワクチン接種率 1期 99.0% 2期 92.4%	◇麻しん風しん混合ワクチン接種率 1期 100% 2期 100%	◇麻しん風しん混合ワクチン接種率 B	◇23年度より1期、2期とも接種率は増加している。
29	食品衛生講習会	◇食品衛生講習会の実施回数 30回	◇食品衛生講習会の実施回数 35回	◇食品衛生講習会の実施回数 40回	◇食品衛生講習会の実施回数 B	◇増加している。目標には達せず 平成24年度 牛レバー、ふぐの取扱い 平成25年度 食中毒菌、ノロウイルス対策 平成26年度 食中毒菌、ノロウイルス対策
30	営業施設などの衛生環境の確保	◇理化学検査による水質の衛生水準適合率 93.5%	◇理化学検査による水質の衛生水準適合率 26年度 82.5% 23年度 91.7% 24年度 86.0% 25年度 77.8%	◇理化学検査による水質の衛生水準適合率 90%以上	◇理化学検査による水質の衛生水準適合率 C	◇理化学検査とは、公衆浴場やプールの水質検査、理美容所の空気検査などである。そのうち、健康被害の可能性の大きいレジオネラ属菌の検査については、平成25年度から検査対象箇所を増やしたため適合率が目標値を下回った。検査不適施設に対し設備や管理の改善指導を重点的にやっている。
31	安全な食生活環境の確保	◇収去検査における食品などの基準不適合率 10.8%	◇収去検査における食品などの基準不適合率 6.1%	◇収去検査における食品などの基準不適合率 5%以下	◇収去検査における食品などの基準不適合率 B	◇不適合率は減少している。目標値には達していない。 不適施設での再検査および指導の実施、食中毒発生時に多数の患者の発生のおそれのある大量調理施設および条例改正に伴い取扱い可能となったふぐ取扱い施設の監視を継続している。
32	休日急患診療事業	◇受診者数 18,138人	◇受診者数 14,510人 23年度 14,466人 24年度 13,766人 25年度 13,448人	◇高い水準で現状を維持していきます。	◇高い水準で現状を維持していきます。 A	◇満足度アンケートでは好評価を得ている。 目標値設定の元である平成21年度は新型インフルエンザ発生年のため受診が多かった。23～26年度はほぼ横ばい。

重点事業における評価および評価理由

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	26年度実績	26年度目標値	評価(最終)	評価理由等
33	練馬区夜間救急こどもクリニック事業	◇受診者数 6,337人	◇受診者数 4,511人 23年度 5,229人 24年度 4,674人 25年度 4,611人	◇高い水準で現状を維持していきます。	◇高い水準で現状を維持していきます。 A	◇満足度アンケートでは好評価を得ている。目標値設定の元である平成21年度は新型インフルエンザ発生年のため受診が多かった。24～26年度はほぼ横ばい。
34	地域医療推進事業補助(かかりつけ医紹介等電話件数)	◇「かかりつけ医」の紹介などの電話相談件数 2,687件 (平成21年度実績)	◇「かかりつけ医」の紹介などの電話相談件数 1,416件 23年度 2,164件 24年度 1,734件 25年度 1,456件	◇「かかりつけ医」の紹介などの電話相談件数 2,800件	◇「かかりつけ医」の紹介などの電話相談件数 E	◇計画策定時の実績値は、平成21年度に発生した新型インフルエンザに関する相談件数が多く、26年度実績値と単純に比較することができない。 ◇また、医師会ホームページに「医療機関のご案内」を設けるなど診療所等の検索が容易となり、電話相談件数を低下させたと推測される。 ◇これら要因により目標値に対する評価は困難である。 ◇地域医療推進事業補助については、近年重要性が増している在宅医療などに関する事業についても補助対象としている。
35	心身障害者(児)および在宅要介護高齢者歯科診療事業	◇延べ治療件数 2,932件	◇延べ治療件数 2,842件	◇高い水準で現状を維持していきます。	◇高い水準で現状を維持していきます。 A	◇心身障害者(児)や要介護高齢者に対して必要なサービスを提供している。
36	病床確保対策事業	◇既存病院の増築・増床や新病院整備を行うための調査検討、および用地候補となる土地の事例検証をします。	◇既存病院の増築・増床や新病院整備を行うための調査検討、および用地候補となる土地の事例検証をします。	◇既存病院の病床を200床増やし、新病院整備のための工事に着手します。	◇既存病院の病床を200床増やし、新病院整備のための工事に着手します。 A	◇既存病院の増築・増床や新病院整備について、引き続き調査検討を着実に進めている。 ◇既存病院の増床は、石神井東中学校の屋内運動場等移転改築に向けた設計に着手した。また、土地交換契約を行った。 新病院は、病院整備用地の一部となる土地を地権者から取得した。
37	医療従事者確保の支援	◇看護職員フェア 2回開催 12名	◇看護職員フェア 2回開催 16名(H23からの累計は28名)	◇事業継続により、潜在看護師の区内医療機関への再就職が、平成23年度からの累計で40人を超える予定です。	◇事業継続により、潜在看護師の区内医療機関への再就職が、平成23年度からの累計で40人を超える見込み A	◇事業継続により、潜在看護師の区内医療機関への再就職が着実に増えている。
38	災害時医療救護体制の構築	災害医療運営連絡会 1回 災害医療運営連絡会専門部会 4回	災害医療運営連絡会 1回 災害医療運営連絡会専門部会 4回	◇災害時医療救護体制を構築していきます。	◇災害時医療救護体制を構築していきます。 A	◇災害時医療救護体制を構築している。

重点事業における評価および評価理由

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	26年度実績	26年度目標値	評価(最終)	評価理由等
39	「地域医療計画」の策定	—	◇平成25年3月に練馬区地域医療計画を策定し、その周知を図っている。	◇より充実した「地域医療計画」とします。	◇より充実した「地域医療計画」とします。 A	◇平成25年3月に練馬区地域医療計画を策定した。